

No.014 滋賀びわ湖青果株式会社

所在地：大津市瀬田大江町59番地の1 大津市公設地方卸売市場内
TEL：077-543-8200



私たちのビジョンです!『滋賀県の基幹市場として、大津市民並びに県下140万人の食生活を支える。』



湖南エリアの皆様に青果物を安定供給! その大きなやりがいモチベーションに!

滋賀県内には5つの卸売市場があり、その中で大津市を中心とした湖南エリアの食を支えているのが、1988年（昭和63年）に開場した大津市公設地方卸売市場で、当社はその市場の青果卸売業者として、野菜や果実等の青果物を販売しています。国内外各地から集められた青果物を、安心・安全にかつ定期的に、大津市、草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市、高島市等8市約87万人の消費者の方に供給するという、社会的使命を担っております。当社は特に、『地産地消（地元の安心安全な農作物を地元で新鮮に美味しく食べる）』を掲げ、県内産青果物を集めることに力を入れており、滋賀県の農業振興にも寄与する地元貢献企業として、その役割を果たすべく、役員職員一同、一致団結して取り組んでいます。

営業職は、農家の方が精魂込めて育てられた農作物を各地から集め、価格を決定し各販売先に分けていく仕事で、新鮮な青果物を販売していくため、始業時間は午前5時ですが、終業時間は午後1時30分と早く、午後のプライベートは充実できます。

早朝の爽やかな空気の中で各営業担当は、各地から集まった野菜や果実を元気に声掛けあって、きびきびとした動きで販売先ごとに分けていく、エネルギー満ちた毎日です。近江商人『三方よし』の心得の通り、売り手（青果物を生産される方）、買い手（販売先の方）、世間（青果物を食べて頂く消費者の方）の三方が、『よし』と満足して頂けることが、営業職のやりがいです。



会社データ	
代表者：海老原満	売上金：61億円
資本金：3,000万円	1年目支給額(年収)：330万円
従業員：41名	休日休暇：年間110日
(男性27名・女性14名)	勤務時間：5：00～13：30
設立：1986年	
採用状況 過去3年	
男性3名 女性1名	

新鮮で安心安全な『食』から、 健康と笑顔を!

『食の大切さ』は言われ続けていますが、青果物をバランス良く食べることは、心身の健康に本当に大事なことです。多種多様な青果物から栄養成分を摂取し元気な体を作る、またそんな効能だけでなく、例えば果肉（食べる部分）が完熟して甘くなったみかんを食べた時、誰もが「美味しい」と微笑んでしまうように、心の安らぎがもたらされます。私たちの仕事は、このような食の素晴らしさを通して、子供からご年配の方々まで、たくさんの消費者の方の心身の健康に役立つことが出来るのです!

働き方改革は、まず管理職の認識を深め、 少子高齢化に対応しよう!

- ①働き方改革の内容について、役員及び管理職への研修を実施→時間外労働の管理や年次有給休暇の5日取得義務等の働き方改革関連法への対応は、残業して長時間働くのではなく、労働生産性を上げようと現場の管理職から理解を深めることから始めると考えます。
- ②再雇用制度における雇用条件の見直しを検討→60歳以上の再雇用者の雇用条件を見直し、モチベーションを下げずに働いてもらうことで、創業以来積み重ねてきた農産物流通のノウハウを、次世代の社員に継承し人材を育てることに努めています。



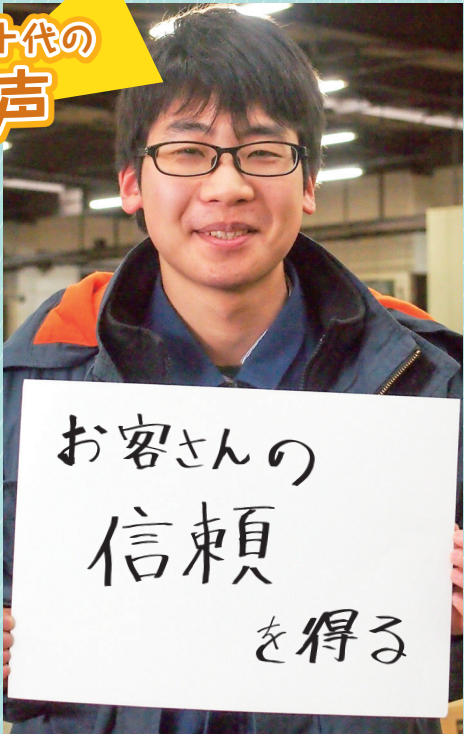
代表取締役社長 海老原満

経営理念

- 1. 我々は安心安全な農産物を安定的にお届けし、皆様の健康を守ります。2. 我々は豊かな食生活を目指し多様な食文化を創造します。3. 我々は精度の高い情報を基に満足頂けるサービスを提供します。4. 我々は皆様に信頼される誠実な人材育成に努めます。5. 我々は環境に配慮し地域社会に貢献します。

お客様からの信頼を得る

三十代の声



吉松 和哉さん
入社：2017年
出身地：滋賀県

滋賀で卒業・就職

滋賀県(高校)→滋賀県(大学)→滋賀県(就職)

今まで住んでいた地元で貢献し、 人に喜ばれる仕事がしたいと思っています。

私は、地元貢献をしたいという思いを胸に、就職活動をしていました。働く軸になっていたのが、今までにやったことがないものにも挑戦したいという思いでした。理系出身の私が営業職に挑戦しようとしたその決め手は、説明会に参加した際の、声をかけてくれた先輩の言葉と人柄でした。こんな方たちと一緒に仕事がしたい!と思い入社。

現在の仕事は、スーパーや仲卸業者からの注文を確認し、その注文通りに新鮮な野菜を分荷、そしてその日に行った取引について伝票入力業務を行っています。

また、農家さんに、売り立て（販売価格）の報告をしたり、農作の状況を聞く等、近況を把握することも大切な業務です。

今後の目標は、スーパーや仲卸業者、また農家さん等のお客様に、今まで以上に信頼される関係を築いていきたいと思っています。

丹精込めて育てられた大切な野菜の取扱いを安心して任していただけるよう、野菜の知識を深めることはもちろん、お客様との日々の挨拶や会話を大切にしています。



働き方改革

仕事とプライベートの両立



プライベートに ゆとりができました!

弊社の営業職は、始業時間が午前5時で、終業時間が午後1時30分となります。入社したての頃は、始業時間の午前5時に間に合うよう午前4時に起きるのも大変でしたが、今では早起きにも慣れ、朝の空気が気持ちよく感じられています。また、市場休場日の水曜日がお休みと決まっているので、どこを訪れても、空いていることが多く快適で、今は大きな休みを利用し、山口県にドライブに行くことができたらいいなと計画しています。

マイワークストーリー My Work Story

2018年 店頭で並ぶ野菜をみて嬉しくなる

自分が取扱った野菜が、店頭で並んでいるのを見て、実際に消費者に届くのだと思うと、嬉しくなりました。ですが、野菜が店頭に残ったままだと悲しくなり、『どうすれば売れるのか』と改善点を探し、試行錯誤を繰り返して売切れた時はすごくやりがいを感じます。



2018年 野菜の鮮度を保てなかった

この業界に入り、野菜の特徴を勉強している中で、気温や降雨量等気象条件によって腐るスピードも変わることを学びました。日々変わる気象条件を知ることは大変重要で、産地等仕入れ先や運送方法を考える等、品質管理意識を持たなくてはと教訓になりました。夏場は野菜がへたり易く、また冬場は黒くなり易いといったことに関し知識を深め、より新鮮で安心安全な野菜をお客さまの元に届けられるよう心掛けています。

